



災害に備える! 新たな動画ができました



北区役所公式YouTubeで気軽に防災を学んでみませんか?

① 在宅避難のすすめ▶

パナソニック ホームズ株式会社とジシン本サポーターが協働で制作した、身近な住まいの防災を学べる動画です。



② 地震がキタ!

防災ガイドブック「大阪北区ジシン本」シリーズの「地震がキタ!」を大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校の学生さんが動画化してくれました。



③ 避難所開設運営 マニュアル▶

放送芸術学院専門学校の学生さん、菅北地域の皆さんと北区役所が協働して制作しました。



問 地域課 ☎06-6313-9734 ☎06-6362-3823

受取の手続きはされましたか? ~マイナポイント第2弾~

マイナポイント第2弾では、最大20,000円分のマイナポイントがもらえます。

【対象となる方】

2023年2月末までにマイナンバーカードを申請された方



マイナポイントの付与方法

① 対象となる方は、まずマイナンバーカードの受取をしよう!

② カードを手に入れたら、
マイナポイントの予約・申込みをしよう!

詳細は
マイナポイント事業HP▶



問 マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120-95-0178 ☎0120-601-785

第12回 中崎町キャンドルナイト ~済美冬まつり~

レトロな雰囲気の魅力の中崎町のまち並みを多彩なキャンドルの灯りが幻想的に彩ります。温かい光の中でゆったりと過ごしませんか。



⑧ 2/11(土祝) 16:30~21:00(キャンドルの点灯は16:30~)

※新型コロナ感染拡大の状況や天候により、変更・中止になる場合があります

⑨ 済美コミュニティ広場・中崎町ホール(中崎西1-6-8)

【主催】中崎町キャンドルナイト実行委員会

● 同時開催「アコースティックコンサート」

済美地域や北区にゆかりのミュージシャンがステージでアコースティックライブを繰り広げます。吹奏楽あり、弾き語りあり、寸劇ありの楽しいステージをお楽しみください。

中崎町キャンドルナイト [検索](#)

問 地域課 ☎06-6313-9948 ☎06-6362-3823

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs⑩

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

SAORI豊崎長屋



マネージャーの
金野哲哉さん

みんなが違う楽しさを 自由な手織りで伝える

豊崎地域に残る明治時代の長屋を改装した「さをり織り」の体験工房です。長屋の小さな空間に織り機を並べ、みんながそれぞれの手織りを楽しめます。

「さをり織り」は1968年に大阪で城みさをさん(1913~2018)が考案した自由な手織り。「差異を織る」が名前の由来で、織り手の個性を大切にします。

年代や経験を問わず誰もが楽しめ、出来上がる作品の面白さも注目されて海外へも広がりました。障がい者の仕事や社会参加にもつながっています。この工房もNPO法人さをりひろば(都島区)が運営する就労継続支援B型作業所の一部です。

木の温もりが気持ちのいい工房には色とりどりの糸があふれ、裏庭からの光も差し込みます。障がい者がスタッフとして働き、初心者には丁寧に織り方を手ほどきしてくれます。「基本だけは伝えますが、あとはできるだけ教えません」とマネージャーの金野(かねの)哲哉さん。「のびのびと好きなように織ることが『さをり織り』の魅力ですから」



好きな糸を選んで世界に一つだけの布を織ります

半端な糸も「お宝糸」と呼んで作品に活かし、間違っても失敗も個性として愛でる。多様性の尊重が「さをり織り」の特色です。学校や商業施設などで出前教室も開いており、金野さんは「子どもたちには創作の楽しさと、みんなが違っていいんだ、という『さをり織り』の世界観を伝えたい」と話します。

初めてでもマフラー程度の大きさなら数時間で完成できるそうです。体験料1,000円(税別)、ほかに材料費がマフラーで2,000円程度。申込方法など詳細は工房のホームページで。

SAORI豊崎長屋 北区豊崎1-7-2
☎06-6376-0410(10:00~18:00) ✉saoritoyosaki@gmail.com

ホームページはこちら▶



あなたの夢は? 大阪市内の小中学校で 「馬の出前授業」を行いたい

横峯奈緒さん。
道産子の望(のぞみ)ちゃんと



昨年9月16日、「扇町公園で馬と友達になろう!」というイベントが開催されました。企画したのは任意団体「馬子屋」の代表・横峯奈緒さんです。「都会でも馬を身近な存在にしたい」と2021年に「馬子屋」を立ち上げました。

横峯さんは北区在住で8歳の女の子のママ。競馬好きだった父の影響で子どもの頃に馬に興味を持ち、22歳のときに乗馬を始めました。ずっと馬に関わる仕事をしたいと思い続け、子育てが一段落すると

豊中市の乗馬クラブでアルバイトをしながら経験を積みました。

コロナ禍が「馬子屋」を始めるきっかけになりました。笑顔が消えた子どもたちに、馬とふれあって元気を取り戻してほしいとイベント開催を思い立ちます。馬は懇意にしている明石乗馬協会(兵庫県明石市)に協力を仰いで手配できましたが、馬を連れていくことを許可してくれる場所がなかなか見つからず、扇町公園での開催が認められたときはホッとしたそうです。

ストレスが多い今の世の中だからこそ、馬が持つ癒やしのかやエネルギーを感じてほしいと言う横峯さんの次の目標は「馬子屋」を法人化し、大阪市内の小中学校で「在来馬の出前授業」を行うこと。北海道の道産子など日本の在来馬は、サラブレッドなどに比べて小型で性質が温和なため、ふれあいイベントにはぴったり。絶滅が危惧される在来馬の存在を知ってもらう機会にもしたいと思っています。「大阪という都会で馬と出会う機会を作って、一人でも多くの子どもの心に馬の魅力を伝えたい」。横峯さんの夢は始まったばかりです。「馬子屋」を応援する『馬とのふれあいプロジェクト』サポーターも募集しています。

「馬子屋」☎090-1963-8219 ✉runaria1207@gmail.com

夢・キタ・ひと

馬子屋代表
横峯奈緒さん



在来馬とのふれあいイベント
(2021年11月、大阪城公園)
=森鷹史さん撮影

北区の魅力は?

ジェンダーレスの街

Twitterアカウント▼
@umayanomagoya